

授業科目名	【Gカリキュラム】 教養演習Ⅰ・Ⅱ ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	選択履修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	TOEIC®問題集を教材とした実践的英語力の増強		担当者	大倉 直子		
授業概要	<p>【概要】 グローバル化社会では広い分野において英語によるコミュニケーション能力が求められる。このクラスでは、コミュニケーションの基盤となる、正確に情報を聴き取る力と読み取る力を伸ばすことを目標とする。教材にはTOEIC®の問題集を使用し、問題を解きながら各人の弱点を把握して補い、英語運用能力を伸ばしていく。リスニングの練習は正しい英語音声の認識と発音の習得につながり、リーディングの練習は活きた文法知識の習得と論理的な読解力の増強へとつながる。また、経済（ビジネス）、社会、文化に関わる問題で必須となる背景知識や語彙力の増強にも取り組む。</p> <p>【到達目標】 正確な英語音声の習得と論理的な英文読解力の向上</p>					
履修条件	担当者による面接で高い学習意欲と基本的な英語の力が確認されること。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 『公式TOEIC® Listening & Reading 問題集 4』 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会，2018年10月発行，ISBN：978-4-906033-54-6，定価：2,800円＋税。</p> <p>【参考書】 『公務員試験 速攻の英語 2020年度版』 資格試験研究会（編），実務教育出版，2019年3月発行予定。</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	<p>前期は教科書のTest 1，後期はTest 2を教材として、前期・後期共、以下の通り学習する。</p> <p>1回：ガイダンス、サンプルクイズ 2回：Part 1 写真の英語による描写のしかたと聴き取り 3回：Part 2 質疑応答の会話のしかたと聴き取り 4回：Part 3 3人以上のグループによる会話の聴き取りと分析 5-6回：Part 4 スピーチや説明の聴き取りと分析 7回：確認テスト 8回：Part 5 文法や語法の問題と基本事項の確認 9-10回：Part 6 文章の読解と推論の練習 11-13回：Part 7 2つ以上の文章の総合的な理解 14回：確認テスト 15回：復習</p>					
予習復習内容	毎回、指示される教科書の問題を解く。					
評価方法	平常点（宿題）40%、確認テスト60%					
評価基準	「評価方法」における総合得点が80点以上で、授業で扱う英文の聴き取り・読み取りが正しくできるようになった者は「A」、得点が70点以上で、概ね正しくできるようになった者は「B」、得点が60点以上で、不十分なところが残る者を「C」とし、得点が60点未満で、間違いが多い者は程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	この授業は1年間で完結し、2度（2年間）以上履修することはできない。 ※Gカ：法【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】ホ°【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】情【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】／EFカ：法【選択必修（γ）】ホ°【選択必修（γ）】経【選択必修（γ）】					